

平成 23 年 1 月 31 日

**報道各位**

長崎都市経営戦略推進会議  
議長 里 隆 光

**第2回長崎サミット・共同コミュニケについて**

昨年 7 月 30 日に続き、本日 1 月 31 日に第 2 回長崎サミットを開催いたしました。

長崎サミットは経済 4 団体（長崎商工会議所、長崎経済同友会、長崎県経営者協会、長崎青年会議所）と長崎県、長崎市、長崎大学のトップで構成しております。

同サミットは、平成 22 年 5 月 31 日に都市経営戦略策定検討会の政策提言により発足したもので、政策提言と同時に提言の具体化推進のために組成した長崎都市経営戦略推進会議における重点推進施策について共通認識として確認し、産・学・官のより強い連携により、その進捗・実績のフォロー、対策等を図り、プロジェクトの成果を上げていくことを目的としております。

今回のサミットでは、前回確認した重点推進項目に基づく 9 チームのアクションプランを確認するとともに、その具体的推進などにより地域経済活性化に全力で立ち向かうことを盛り込んだ「第 2 回長崎サミット・共同コミュニケ」を採択しました。なお、ワーキングチームの主な具体的取組み項目としては、4 分野 15 項目を挙げております。

今後とも、長崎サミット、長崎都市経営戦略推進会議の活動にご支援・ご協力のほど、お願い申し上げます。

《お問合せ》長崎商工会議所・松永 tel 822-0111 長崎経済同友会・木須 tel 822-5052

平成 23 年 1 月 31 日（月）

## 第 2 回長崎サミット・共同コミュニケ

中村 法道	長崎県知事	松藤 悟	長崎商工会議所会頭
田上 富久	長崎市長	宮脇 雅俊	長崎経済同友会代表幹事
片峰 茂	長崎大学学長	相馬 和夫	長崎県経営者協会会長
		塚根 進	長崎青年会議所理事長

人口減少等地域経済の衰退は産学官共通の重要な課題であるとの共通認識のもと、連携した活動に着手しコミュニケーションの強化、活動の連携強化等、一定の効果が得られてきている。

近時、地域衰退の具体的事例も出ており、我々は本プロジェクトの推進に当たって、以下の 4 つの方針を確認するとともに、改めて強い決意をもって地域活性化に全力で立ち向かうことで、意見が一致した。

### 1 . 確認したアクションプランに基づき、前倒して具体的な推進活動を行う。

前回のサミットで確認した重点推進項目に沿って 9 ワーキングチームで第 1 次のアクションプラン（別添）を策定した。このプランに基づき、関係者連携して具体的な活動を進めていく。

各ワーキングチームの主な具体的な取組み項目は別紙 1 の通り。

### 2 . 幅広く市民と連携し推進力を高める。

広報については、活動の柱の一つとして積極的に推進してきたが、市民シンポジウムの開催、HP による意見把握等により、更に広報の強化、多数の市民とのコミュニケーションを図り、連携を目指す。

### 3 . 推進策の具体的実行段階に入り、推進体制を強化する。

長崎都市経営戦略推進会議の組織を整備するとともに P D C A 体制を構築する。その一環として専担事務局を本年 4 月に設置する。

これに基づき次回（6 ヶ月後）長崎サミットに向けて、推進策の実施状況、成果等を十分フォローする。

### 4 . 県内他地域への本活動の波及を期待する。

佐世保地域でも、長崎地域での活動と同様のプロジェクト推進の組織が立ち上げられた。長崎地域以外に更に同様の動きが広まると県下全体の活性化に相乗的な効果も期待できる。

## 各ワーキングの主な具体的取組み項目

### 「造船（技術）の町」長崎の再構築 **(基幹製造業分野)**

- ・客船連続建造体制に向けた柳埠頭・神の島での屋内倉庫、大波止・神の島での駐輪・駐車場用地、工事従事者宿泊施設等の確保に向けた調査、及び柳埠頭へのコンテナ定期航路の増便可能性調査に着手
- ・2013年に「海事展」長崎開催に向けた誘致活動着手
- ・三菱長崎造船所香焼展望台の一般開放のための準備着手、当面の工場見学の一部拡充検討
- ・中小製造業等の企業間連携による競争力強化策の具体化に向けた事例研究、共同受注体制等の仕組みづくり着手
- ・造船業の国際競争力強化に係る陳情活動等の検討

### 「国際（アジア）観光の町」長崎の構築 **(観光分野)**

- ・観光産業確立のための「連携協議会」（仮称）の設置（本年3月目途）
- ・おもてなし日本一の実現のため、推進会議参加団体・企業の「長崎県総おもてなし運動」への総参加と市民全体によるおもてなしの実践活動展開
- ・上海航路実現と定着・継続に向けた最大協力準備着手（中国人観光客の受入体制充実・整備）
- ・出島・大型イベント等長崎の主要な観光資源の一層の活用と街づくり促進
- ・九州新幹線西九州ルート早期整備に向けた活動強化

### 「水産の町」長崎の強化 **(水産業分野)**

- ・「長崎かんぼこ王国」の設立、王国の展開による水産練り製品ブランド化（飲食業等異業種との協働による域内消費拡大、大都市圏展示会出展等による域外顧客の獲得）
- ・王国ブランドによる新商品・新定番の研究開発と新メニューの提案

### 「アジアの学都」長崎の構築 **(大学分野)**

- ・グローバル人材育成のための長崎大学の新学部設置および感染症研究充実に向けた支援・協力
- ・アジアを中心とした留学生の募集・生活支援・就職対策等強化支援・協力、「長崎地域留学生交流推進会議」との連携体制構築
- ・業種別産学コーディネーター配置の検討